



# シルバーだより

No. 273

平成 25 年 3 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

## 好奇心を持つということ

理事長 岡田芳子

今年の冬は寒い日が多かったように思います。3月の声を聞くと心の中にも温かい風を感じます。

1月下旬、友人に誘われて『能』に関する資料展（観世宗家展）を観にいきました。能はシルクロードから中国を経て伝わった散楽が、平安時代頃に猿楽に変貌する中から誕生し発展しました。

室町の初め頃には大和の国の観阿弥清次（1333年～1384年）世阿弥元清（1363年～1443年）父子が今日につながる能の世界を確立したと言われています。日本の文化を観る方々の多さに驚かされました。会場の中には、能面と衣装展示を中心に、さらに大画面で『道成寺』と『羽衣』を映像で目と心を楽しませる演出もありゆったり時間が流れました。



能・道成寺

私は友人と共に、休憩イスにちょっとすわりました。隣に私共より年上の方が、やはりすわっていました。とてもにこやかで穏やかな雰囲気を持ちそなえており、思わず「失礼ですが、おいくつですか」とたずねると「92歳です。」と。

「まあ、とてもそんな見えませんね。お若くいられる秘訣は」と何うと「好奇心を持つことが大事かと思います。この年齢になっても知らないこと、知りたいことがいっぱいなんです。このような日本の伝統の美に会えて感謝です。」と、わずかな会話でしたが心に残りました。好奇心か……。

私は、小学校の教師時代、子どもたちに知的好奇心をどうもたせて知る楽しみを味わうことができるかと努力したことを思い出しました。今、私自身どれだけ好奇心をもって生活しているか問いかけました。2月、平成25年度の受講生の募集が行われました。今迄の教科でさらに向上したい、新しい教科に挑戦したい、これこそ好奇心そのものだと思います。私も受講しようかな？

また、学芸会で発表された各教室、工夫をこらし、私達の心と体を躍らせてくださいました。感謝・感激の時間でした。3月18日、閉講・卒業式です。

## 私は風になる

一日一回は散歩して、体を動かした方がいいよ。医師の進めに自分で決めた散歩コース。A、B、C。Aは体調の良い時に大廻りするコース。Cは小さくゆっくり歩いて帰る道。太陽の光が暖かく感じられる穏やかな日は、コースから外れて、歩いた事のないような道に、入って行く時もある。

先日、心が暖まるようなご婦人に会えた。太陽の光が背中を推す昼下がり、コースから外れて細い道を歩いていると、先方に赤いワイン色の花が見えた。近づいてみると、地植えしてある菊が、自由に枝を伸ばして、ひと抱え程丸くなって咲いている。菊のそばには椿の蕾が少しふっくらとして春を待っていた。

ちょっと足を止めて眺めていたら、菊の後ろから手拭いを手際よくのせたご婦人が、色とりどりのスマイルの手入れをしているところだった。「こんにちとはと腰を伸ばしながら、私は花が好きでね」と手の土を払いながら声をかけてくれた。昔はこんな光景がいっぱいあったのにと思い出して嬉しくなった。

しばしの談笑が終わって元のコースを歩いていると、アラ此の間歩いてた時建っていた家は空き地になってロープが張ってある。此処にどんな家があったのだろう。いくら考えても思い出せない。

私、風になったのかしら。唯道を歩くだけ、それもいいか、何も考えず太陽の下を歩く。風のように遠くには行けないけれど、此処に何があったかなんて、

覚えておく必要もない。私は風になる。 広報部長 佐藤恒子



## 温暖化が進み伊勢湾台風級が来たら・・・

2013年1月9日朝日の夕刊三面に「東京駅まで浸水」の見出しがあり、そのそばに青色の濃淡に色分けされた、浸水深度マップ（地図）が掲載されていた。東京駅・浅草雷門・東京スカイツリー・と一緒に、地図の上の方に荒川区役所の○印を見つけたので、驚いて読み進めることにした。

内容は、温暖化が進み、海水面が35センチ上昇、海水の温度が上がることで台風の勢力が増し、21世紀末に1955年の伊勢湾台風級の大型台風が東京湾を襲ったとすると、しかも高潮の条件での結果、千葉県船橋市で4・1メートル、東京港では3・4メートルの高潮に見舞われるとの事だ。しかも浸水地域が最大になるのは、満潮時に水門がすべて閉鎖出来なかった場合。

東京都江東区、墨田区を中心に大半が浸水し、荒川区役所、江戸川区役所にも広がるとの事。

東京駅2メートル・雷門1メートル・東京スカイツリーでも25センチ浸水

するという。一方東京ディズニーランドやディズニーシーは埋立地ながら標高9メートルもあり浸水は逃れるそうだ。最近原発の問題もあり、地震に対しての備え等は色々言われているが、温暖化による水害の備えもおろそかにしないように心がけなければならないと思う。

予測は防災科学研究所と名古屋大学がまとめたもの 副理事長 宮澤健一

.....

## 空襲にも耐えた老舗そば店「かんだやぶそば」が火事に

上記の見出しで2月20日、朝刊の1面に載った記事を目にしました。

「千代田区神田淡路町2丁目のそば店『かんだやぶそば』で19日夜に発生した火災で店舗と近隣の建物4棟計190平方メートルが焼けた」。との事。店は1880年創業。現在の店舗は1923年に建てられた東京都選定歴史的建造物に選定されていたと云う、惜しい建物を灰にしたものだ。

常連には作家で食通の池波正太郎もいた。氏は著作のエッセーで「東京が誇りうる数少ない名店の一つだ。そしてこの一角は、不思議に空襲にも焼け残り、昔の東京の香りを辛うじて残している」この一文を読み、私は池波氏の随筆の中で「文章を書く」の項目で、「歩み」の一節を思い出した。「歩いて見たこと、聞いたこと、香って来たもの、味わったもの、の数々が心に残っていれば、それは何時か文章に現れてくる」。

「歩く」は「思いつき」を生む脳の働きに相関関係があるのでしょう。

「書く事のヒントが浮かぶ」とのこと。歩いて、見て、味わって、多くの名作を残した、作家池波正太郎氏も草葉の陰で、此の事は残念に思っていることでしょう。私たちにとっても残念無念の出来事です。(広報部)  
※火災の翌日、4代目の店主は「建物は解体することになると思うが、半年後には再開したい」と再建を誓ったとのこと。

### 募集受付について.....

平成25年度の入学受付が開始されました。

入学受付の方法が昨年と変わったので、混乱がないか心配しましたが、地区長、班長、クラス代表の役員が学生の皆様へ手続きの変更内容を連絡していただいたおかげで、混雑が緩和されました。まだまだ改善しなければならない点がありますが、シルバー大学のコンセプトは昨年亡くなられた秋山先生の



「学ぶことに生き甲斐を持ち友人と談笑を楽しみ自然に楽しむ旅にも積極的に参加する」言葉を忘れないようにして、最後まで元気で常に学ぶことを忘れない生き方をしてゆきましょう。(広報部)

### 3月の行事

## 平成24年度 閉講・卒業式

日時：平成25年3月18日（月） 午後2時00分

会場：サンパール荒川 小ホール

#### 一部

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 開式のことば | 7. 奨励賞授与    |
| 2. 敬礼     | 8. 奨励賞受賞者謝辞 |
| 3. 理事長挨拶  | 9. 校歌斉唱     |
| 4. 卒業証書授与 | 10. 閉式のことば  |
| 5. 学長式辞   | 11. 敬礼      |
| 6. 卒業生答辞  |             |



#### 二部 記念撮影

奨励賞受賞者・卒業生

### ◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 2 月 ◆◆◆◆◆

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 5日 常任理事会・役員会      | 21日 学芸会打合せ       |
| 8日 25年度募集受付（20日迄） | サンパール荒川舞台ご担当者と   |
| 21日 旧真土小使用申請提出    | 28日 学芸会（サンパール荒川） |

### ※ 事務局だより ※

- 平成25年度の募集申込み受付は終了致しました。区の社会教育課、福祉高齢者課および広報課、生涯学習センター他、皆さんより多大なるご協力をいただき心より感謝申し上げます。また役員の方々には毎日お手伝い頂きありがとうございました。
- 水彩画教室の発表会を下記のように開催致します。会期：3月6日(水)～12日(火)  
時間：午前10時～午後6時（初日は午後1時より、最終日は午後3時閉会）  
会場：町屋文化センターふれあい広場  
※前月掲載した際に会期に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。
- 講師会について 日時：3月29日（金）午前10時より：会場：第一会議室  
事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691  
ホームページ <http://www.arakawa-silver.com/> 室長：田原